

令和6年度 第1回かほく市行政改革推進委員会 会議録

日 時	令和6年7月30日（火） 午前9時57分～午前10時53分
場 所	かほく市役所庁舎 302会議室
出席委員	坂野委員、南委員、西田委員、松本委員、元木委員、楠委員、浜本委員、 上村委員、森下委員、竹本委員（10名） ※欠席：桶谷委員、東委員（2名）
事 務 局	総務課【竹田課長、新田主幹、石野主査、岩井主事】
議 題 等	1. 開会 2. 坂野会長あいさつ 3. 第5次行政改革大綱の策定について 4. その他
会議資料	・かほく市行政改革推進委員会設置条例 ・第7期かほく市行政改革推進委員名簿 ・かほく市行政改革推進体制 ・行政改革推進委員会 今後のスケジュール ・第5次かほく市行政改革大綱の策定について（重点項目素案） ・第4次かほく市行政改革実施計画書 ・第5次かほく市行政改革実施計画（案）

○かほく市行政改革の推進体制及び実施スケジュールについて

- ・事務局より、かほく市行政改革の推進体制及び今後のスケジュールについて、会議資料に沿って説明を行った。

○第5次かほく市行政改革大綱の策定について

- ・事務局より、第5次かほく市行政改革大綱の策定について、第5次かほく市行政改革実施計画（案）に基づき、説明を行った。

○その他

- ・事務局より、次回の会議の開催予定と委員報酬の支払についての説明を行った。

【主な質疑応答】

（委員）

- ・定員管理の適正化について、昨今、公務員志向の低下により、どの自治体も人員確保に苦慮している。かほく市においても人員確保に向けて新たなことに取り組んでいると思うが、今後どのように人員を確保していくかを検討していただければと思う。

(事務局)

- ・全国的に公務員離れが進んでおり、募集倍率も逡減化している。かほく市も同様であり、人員確保に苦慮している状況である。そういった課題を解消するため、会計年度任用職員を活用しているところである。
- ・今年度新たな取り組みとして、年度途中での採用も開始した。また、職員募集は様々な方法でPRしている。いずれにしても、人材確保に向けては様々な手段を使い、これからも検討していきたいと思う。

(委員)

- ・地域づくりは人づくり。組織づくりも人づくりである。手を抜かずにやっていただきたい。

(委員)

- ・行政手続きのプロセス改善におけるシニア世代に対するデジタル機器の活用支援については素晴らしい取り組みだと思う。七塚地区ではスマホの活用教室を実施している。高松地区から参加するとなると移動が大変だという声も聞く。高松地区でもスマホの活用教室は実施できないものなのか。

(事務局)

- ・七塚地区でのスマホの活用教室は大変好評だと聞いている。他地区でのスマホ教室の実施を希望する声もお聞きしている。そういったニーズや費用対効果などを総合的に勘案しながら、担当課にも改めてお伝えし、検討していきたいと思う。

(委員)

- ・定住促進について、シビックプライドとあるが、どういう意味か。

(事務局)

- ・端的に申しますと、シビックプライドとは「地域への誇り・愛着」という意味である。耳慣れない言葉ではあるが、今後は一般的になってくるだろうということで、企画振興課ではあえて使用している。最終的な大綱において巻末に用語集をお付けする予定である。

(委員)

- ・かほく市の子育て支援もあり、こどもの数が増加している。しかしながらそれに伴って、こども園での職員も負担が増加している。今回の保育士の採用にあたり年齢制限を40歳までに引き上げていただいたが、職員募集にあたって先生方などの現場の声は聞いているのか。

(事務局)

- ・全国的に人口減少が言われている中で、おかげさまでかほく市では、平成27年度から9年連続で人口が増加している。特に若年層の移住が多く、こどもの数も増加しているところ

ろである。そういった中で、保育士の人員不足が課題であることは事実である。正規職員や会計年度職員の募集は随時実施している。

- ・担当課であるこども家庭課と園長が月1回現場の状況を情報交換している。今年度新たに年度途中での職員募集を実施したり、委員のお話にもありましたように年齢制限を40歳までに引き上げるなど様々な手段を使い、職員の負担軽減につながるよう担当課と現場で連携しながら、新たな保育士の確保に向けて取り組んでいきたいと思う。

(委員)

- ・安全・安心な生活環境の整備について、宇ノ気川が氾濫すると市役所も浸水することが想定される。この庁舎の弱点として、機械類が地下にあり、浸水すると拠点としての機能を失うことが挙げられる。庁舎の建て替えや移転なども含めた予防にも重点を置くようお願いしたい。

(事務局)

- ・ご指摘のとおり、この庁舎には重要な機能が地下にある。そういったことを踏まえ、地下にあった防災行政無線設備及びケーブルテレビ設備を移動した。その他の設備等については、費用対効果や有利な財源の活用、国や県の指針などを総合的に勘案し、検討していきたいと思う。

(委員)

- ・定住促進と一体的な子育て支援の充実について、新たにかほく市に転入された方々に対して、よりわかりやすいようなパンフレットなどがあればいいと思う。また、地域の行事や組織などもわかるようなものがあればいいなと思っている。

- ・個人情報の制約もあると思うが、新たに転入された方々の情報を地区にフィードバックしていただくようなことも検討していただければと思う。

(事務局)

- ・できること、できないことがあると思うが、担当課に現状を確認しながら、ご意見をお伝えさせていただく。

(委員)

- ・安全・安心な生活環境の整備について、近年激甚化する自然災害に対してかほく市だけの防災ではなく、近隣市町と連携した広域の防災センターなどの建設を検討してもいいのではないかな。

(事務局)

- ・広域的な防災の可能性について、担当課にご意見をお伝えさせていただく。

（委員）

- ・安全・安心な生活環境の整備について、こども会では各地域の防災マップを作成している。そういったものも是非活用いただければと思う。

（事務局）

- ・各地域の手の込んだ防災マップを作っていただいている。担当課にご意見をお伝えさせていただく。

（委員）

- ・ふるさと納税の実績はどうなっているのか。

（事務局）

- ・かほく市においてのふるさと納税の実績は、右肩上がりで推移している。寄附額はざっくり申し上げますと3億5千万円。昨年度は、7月豪雨と能登半島地震の影響で3億8千万円の寄附があった。今後は、さらなる一手を検討していきたいと考えている。

午前10時53分会議終了